

ツール 8：問題定義ワークシート

このツールの目的

現在取り組んでいる問題についての分析を行う。

このツールを使うタイミング

関係構築ステージで、主要な問題を定義することが重要なタイミング。

問題定義ワークシートとは

NESTAの[Development Impact & Youツールキット](#)の1要素であるこのツールを用いることで、MSPにおける重要な問題を明確化し、1つの枠組みに当てはめることができるようになる。問題だと思われたものは、より根深い問題から生じる症状に過ぎないという場合がしばしばある。このツールは、問題をさまざまな角度から見ることで、問題の様々な側面を理解させてくれる。個人でこのツールを活用することもできるが、ステークホルダーのグループと一緒に活用することで、さまざまなアイデアを同じ方向にまとめることも可能だ。

なぜ問題定義ワークシートを使うのか

状況に合わせカスタマイズした問題定義シートを使うことで、認識されている問題に対するさまざまな異なる見方を捕捉・比較し、議論することができるようになる。このツールを用いて、問題を分析することも、さまざまな角度から検討できるような形で問題を提示することもでき、さらには、関連するより広範な状況や問題を定義するために用いることもできる。

この問題定義ワークシートは、5つの質問を行うことで、洞察を提供してくれるものだ。この5つの質問は、ファシリテーターがグループディスカッションの枠組みを決める上でも非常に有用だ。メンバー全員が議論に貢献できるようにするため、グループ全体での議論に入る前に、必ず少人数チームに分かれ、個々で、あるいはチーム内で考える時間を取るようにする。さらに、自分自身の分析を他のステークホルダーの分析と比較することで、アウトプットが大きく向上する。必要なリアリティ・チェックを新たな文脈や視点から行うことができるようになるからである。

この5つの質問を行うことで、参加者は、その問題に対する彼らの現在の理解や当てはめている枠組みを拡げられるようになる。また、一見まったく違って見えるさまざまな問題を比較するための、標準化された手法としても用いることができる。

問題定義

主な重要課題にフォーカスすることで
自分自身の優先順位を明確化したい

対処しようとしている主な問題は何か、そしてなぜそれが重要なのか？	この問題は誰にとっての問題なのか？	この問題を形成している社会的あるいは文化的ファクターとは？	時間や予算をかける価値がある問題だということのような証拠があるのか？	この問題を違った形で考えることはできるか？ この問題に違う枠組みを当てはめることはできるか？
----------------------------------	-------------------	-------------------------------	------------------------------------	---

出典：Julier, J., Kimbell, L. (2012) によるDevelopment Impact & You Toolkit。このワークシートのさまざまなサイズの印刷可能バージョンは、DIY Toolkit [ウェブサイト](#) からダウンロード可能。

出典およびその他の参考資料

NESTA & Rockefeller Foundation (2014) Development Impact & You Toolkit. #8: Problem definition.
<http://diytoolkit.org/tools/problem-definition-2/>

Kimbell, L. & Julien, J. (2012). The Social Design Methods Menu. Available for download at
http://www.lucykimbell.com/stuff/Fieldstudio_SocialDesignMethodsMenu.pdf